

新清掃工場整備ニュース

(新清掃工場整備基本計画について①)

発行番号:第1号

発行年月:平成28年9月

発行者:立川市環境下水道部

新清掃工場準備室

新清掃工場整備基本計画検討委員会が発足しました!!

新清掃工場整備基本計画検討委員会委員名簿



第1回委員会
H28.5.10 開催



区分	氏名 (敬称略)	所 属 等
学識経験者	荒井 康裕	首都大学東京大学院 都市環境科学研究科 都市基盤環境学域 准教授
	市古 太郎	首都大学東京大学院 都市環境科学研究科 都市システム科学域 准教授
専門家	荒井 喜久雄	公益社団法人 全国都市清掃会議 技術指導部長
	谷川 哲男	公益財団法人 東京都環境公社 環境技術部長
関係団体等	佐藤 良子	立川基地跡地利用施設検討委員会 会長
	岡本 隆行	立川基地跡地利用施設検討委員会 副会長
	小松 清廣	立川商工会議所 専務理事
	佐藤 篤史	立川市商店街振興組合連合会 副理事長
	守重 芳樹	立川市自治会連合会 副会長
	溝渕 浩一	立川市ごみ減量・リサイクル推進委員会 委員長
公募市民	原口 智章	公募市民委員
	森 達實	公募市民委員
	和田 ちひろ	公募市民委員
行政	渡辺 晶彦	立川市 市民生活部長
	野澤 英一	立川市 環境下水道部ごみ減量化担当部長

第1回新清掃工場整備基本計画検討委員会

新清掃工場整備基本計画検討委員会が平成28年5月10日に発足し、第1回委員会が開催されました。

市長より各委員への委嘱が行われ、各委員等の自己紹介の後、委員長、副委員長の選出が行われました。

委員長の進行により、委員会の進め方、今後のスケジュールやごみ処理システムについて検討が行われました。

第2回新清掃工場整備基本計画検討委員会

平成28年6月7日に第2回委員会が開催され、生活環境影響調査の調査・予測項目やごみ処理方式、施設規模や環境保全対策など7つの議題について検討が行われました。

会議の中で、生活環境影響調査についての慎重な調査の要望や対象とするごみ処理方式について活発な議論が行われました。

新清掃工場整備基本計画検討委員会とは

平成27年12月にとりまとめた「新立川市清掃工場(仮称)の基本的な考え方」に基づき、新たなごみ焼却施設について、環境負荷が少なく、安全で効率性が高い、防災機能を備えた施設としての基本仕様や、新施設について実施すべき生活環境影響調査の調査項目などに関して、必要な事項を検討する委員会です。

新清掃工場整備ニュース

「新清掃工場整備ニュース」は、新清掃工場の整備に向けた取り組み状況などについて、広く市民の方に知っていただきたため、発行するものです。今年度(平成28年度)は、現在進めている「新清掃工場整備基本計画」の策定状況等を中心にお知らせしていきます。

第1号

- ・新清掃工場整備
　　基本計画検討委員会
 - ・事業スケジュール(案)
 - ・生活環境影響調査
 - ・ごみ処理方式
- などについて掲載

第2号

- ・施設規模
 - ・環境保全対策
 - ・煙突高さ
- などについて掲載予定

第3号

- ・防災機能
 - ・環境学習機能
 - ・事業方式
- などについて掲載予定

第4号

- ・整備基本計画(素案)
 - ・パブコメ内容
 - ・次年度事業予定
- などについて掲載予定

新清掃工場事業スケジュール(案)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
1 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画	■								
2 新立川市清掃工場(仮称)の基本的な考え方	■								
3 新清掃工場整備基本計画	■	■	■	■	■	■	■	■	■
4 都市計画決定				■	★				
5 用地取得					要望書の作成・提出、資料作成・審議会開催など				
6 生活環境影響調査			■						
7 事業者選定				仕様書の作成など	平成31年度上旬 事業者決定予定	★			
8 建設工事						■			
9 新清掃工場 稼働開始							平成34年度稼働開始予定	★	

生活環境影響調査

廃棄物処理施設を整備するうえで、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規定により実施しなければならない周辺への影響の予測・分析をするための環境調査のことです。

生活環境影響調査指針の標準的な3項目(大気汚染、悪臭、騒音・振動)に加え、東京都環境影響評価条例を参考とする8項目(地盤、水循環、生物・生態系、日影、電波障害、景観、廃棄物、温室効果ガス)に「低周波」の項目を加えた12項目について、生活環境影響調査を実施し、調査、予測、影響の分析を行います。

(第2回新清掃工場整備基本計画検討委員会での検討内容)

ごみ処理方式

ごみを処理するための方法は、「燃焼熱分解技術」、「バイオマス技術」と「その他の技術」の

3つに大別することができます。その中で現状のごみ質や多様なごみへの対応、副生成物(処理残さ等)の処分等を踏まえ「燃焼熱分解」「バイオマス」技術で検討を進めていきます。

その2つの技術の中から以下の6つの処理方式に整理して検討を進め、最終的に処理方式を決定します。

「ストーカ式焼却」「流動床式焼却」「ストーカ式焼却+灰溶融炉方式」「シャフト炉式ガス化溶融方式」

「流動床式ガス化溶融方式」「ストーカ式焼却+メタンガス化」(第2回新清掃工場整備基本計画検討委員会での検討内容)

問合せ先など

今回の掲載内容の詳細は、立川市ホームページ「新清掃工場整備基本計画検討委員会」でご覧いただけます。

「立川市HP」→「暮らし・環境」→「暮らし・環境に関する会議・審議会」→「会議録【暮らし・環境】」→「新清掃工場整備基本計画検討委員会」

問合せ先：環境下水道部 新清掃工場準備室 電話 042-523-2111(内4012)

E-mail shin-seisoukoujou@city.tachikawa.lg.jp